

新たな価値の創出を通じた 持続可能な「水循環」形成プロジェクト

高知県 土佐町





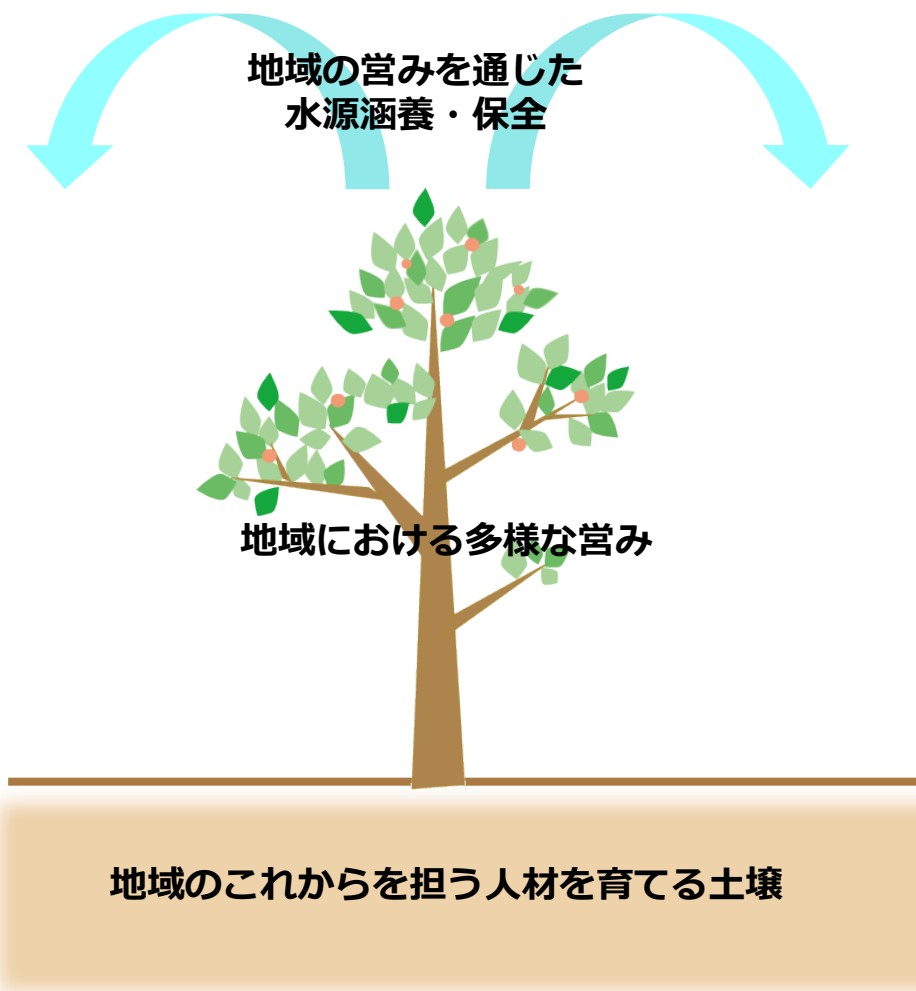
はじめに

SDGsと住民幸福度に基づいた 持続可能なまちづくり



水で生きる土佐町

「地域で暮らす人々の豊かな営みが、他の地域をも潤す“世界”の水源のまち」を目指して



水源の保全・涵養

- 四国を支える「四国の水がめ」
- 早くから水源保全の取組を推進

水源を守る地域住民の活動

- 生業（稲作、林業）を通じ水源を守る
- 地域地域での多彩な住民活動
→ 地域自治や非営利セクターが活発
- 生涯現役で活躍する地域住民

次世代を育てる土壌

- 県内トップクラスの合計特殊出生率
- 子育て支援の充実、暮らしやすい町
- 教育や学びの環境の充実



課題意識：持続可能な水源保全・涵養

人口減少・高齢化に直面するこれからの時代においても“持続可能”な水源のまちであり続けるには

水源の 保全・涵養

水源を守る 地域住民の活動

次世代を 育てる土壌

人口減少・高齢化の中でも持続可能であるには

- 少ない人口で、効率的・効果的に水源を保全していくことが必要



- 水源のあり様や、水源を育む産業連関等を定量的かつ具体的に把握することが実現する

- 水源を保つ地域の生業が持続可能であることが必要
- これまで以上に多様な人が活躍できることが必要



- 林業や稲作を起点に地域経済全体の循環が実現する
- 地域に暮らす全ての人々が活躍できる地域が実現する

- 次世代を生み育む、暮らしやすい町であることが必要
- これからの時代に対応できる人材の育成が必要



- 農村部と市街地が有機的に結びつく地域が実現する
- 地域において質の高い教育や学びの環境が実現する



自治体SDGsモデル事業の概要

水源の実態把握に基づく地域経済のリデザインや、それを実現する人材育成により、持続可能な水源のまちへ



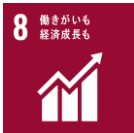
水源涵養や保全のあり様の把握

産業連関の把握

状態の把握

社会インパクトの把握

経済



シビックエコノミー創出事業

- ・ 地域における起業家育成
- ・ 地域の経済循環の創出

環境



水源のあり様を踏まえた棚田保全



水源のあり様を踏まえた森林施業

- ・ より効果的な保全や施業
- ・ 循環を通じた水源涵養

社会



起業家教育を通じた人材育成

- ・ 教育や学びの環境と連動した若者世代の起業推進



ソーシャルインパクトボンド

三側面をつなぐ統合的取組

水源の保全及び涵養の実態や、それから生じる経済的・社会的価値を定量的かつ具体的に把握する。



Evidence Based Water Resource Management

従来は、地域の生業（林業や棚田での稲作）を通じて、自然と水源の保全が行われ、水源涵養が実現されてきた

高齢化及び人口減少が本格化するこれからの時代には、より意識的かつ効果的な水源保全のあり方へシフトしていくことが必要

水源のあり様や、そこから生じる産業連関、社会インパクトを可能な限り定量的かつ明確に把握することに取り組む

水源のあり様の把握

表流水、地下水等の水源のあり様を把握し、より効果的な水源保全や涵養へと繋げる。

→水循環モデルの作成

産業連関の把握

水源を保全する生業から繋がる産業連関を把握し、地域の経済循環を構築する。

→産業連関表の作成

社会インパクトの把握

水源を保全することから生じる社会的な価値や効果を把握し、水源を保つ意義を明確化する。

→社会インパクト評価の実施



ソーシャルインパクトボンド型の資金スキームの構築

水源保全や涵養の価値を明確化し“資源”を水源地に還流させる。



経済、社会、環境の各側面の相乗効果

経済、社会、環境の相乗効果を通じて、水源の保全・涵養に繋がる新たな循環を構築する。

経済
↑↓
環境

水源保全及び涵養に直接的に寄与する産業構造の創出

(経済→環境) 水源保全及び涵養に繋がる一次産業と連関が強い産業の創出

(環境→経済) 効果的な山林施業等により関連産業へ原材料の安定的供給が実現

環境
↑↓
社会

水源保全及び涵養に関与する人材の維持・増加

(環境→社会) 農村部の暮らしが維持されることで地域の多様な暮らしが実現

(社会→環境) 水源涵養の意義が明確化し、より多様な人が保全に参画

社会
↑↓
経済

水源涵養に繋がる多様な経済の担い手の流入及び育成

(社会→経済) 地域で育まれた人材が、地域の多様な産業創出の担い手となる。

(経済→社会) 多様な産業に多様な人材が流入し、地域の営みがより豊かになる。



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

ソーシャルインパクトボンド型資金調達スキームの構築

水源涵養から生じる
社会インパクト（価値）

社会

社会インパクトを
地域経済に還流

社会インパクトを
地域経済に再投資

**ソーシャルインパクトボンド型
資金調達スキームの構築**



水源保全及び涵養により生じる社会インパクトを可視化し、利水地域（下流の需要地域）からの資金を呼び込み、SIB型の資金スキームを構築する。

その資金を地域経済に再投資することで還流させ、さらに水源涵養を促進し、自律的好循環へと繋げる。

環境

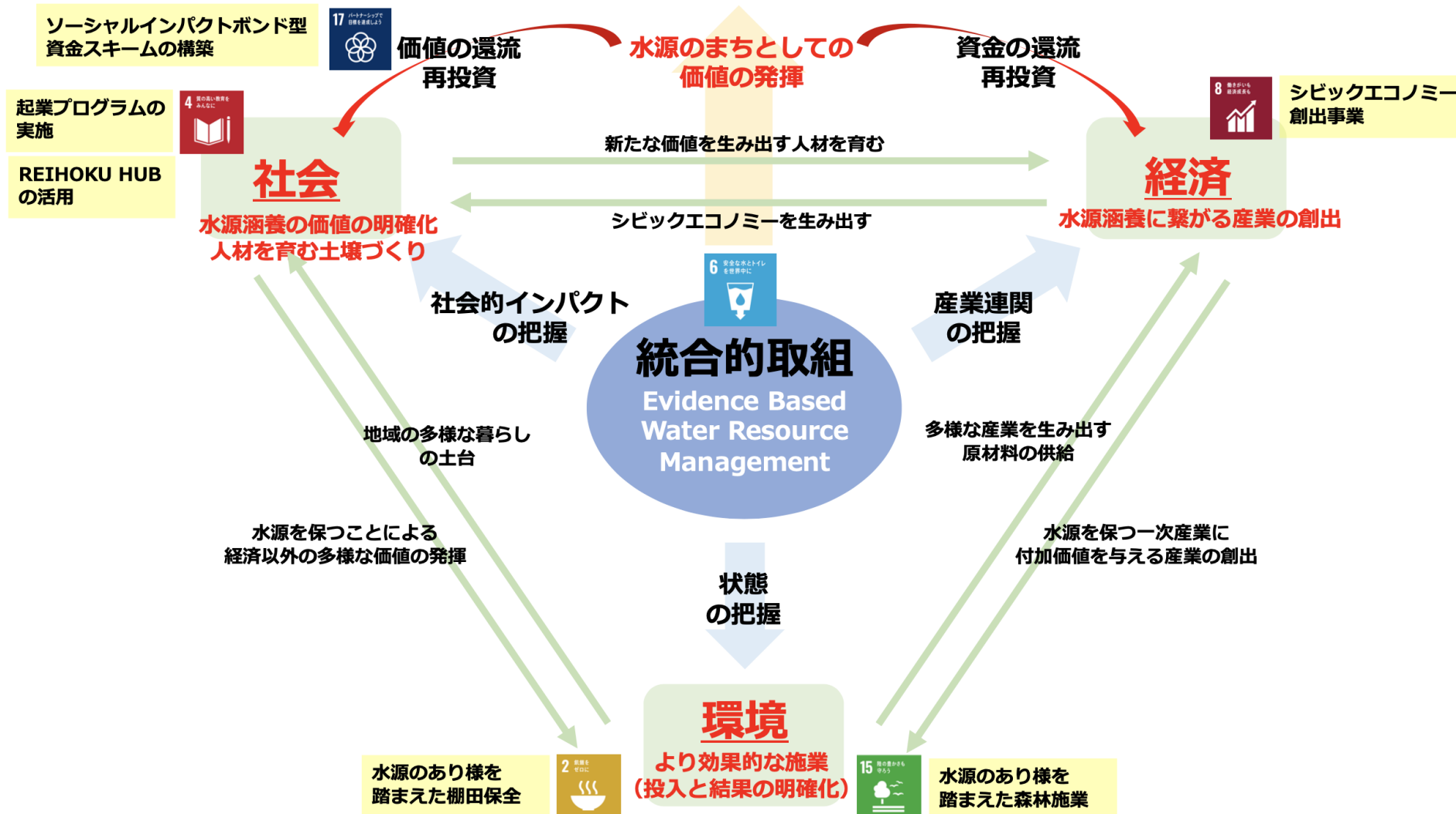
水源涵養から生じる
社会インパクト
の把握

経済

水源涵養に繋がる
シビックエコノミー
の創出

経済循環を通じた水源涵養

取組の全体像





誰ひとり取り残さない持続可能な土佐町を目指して